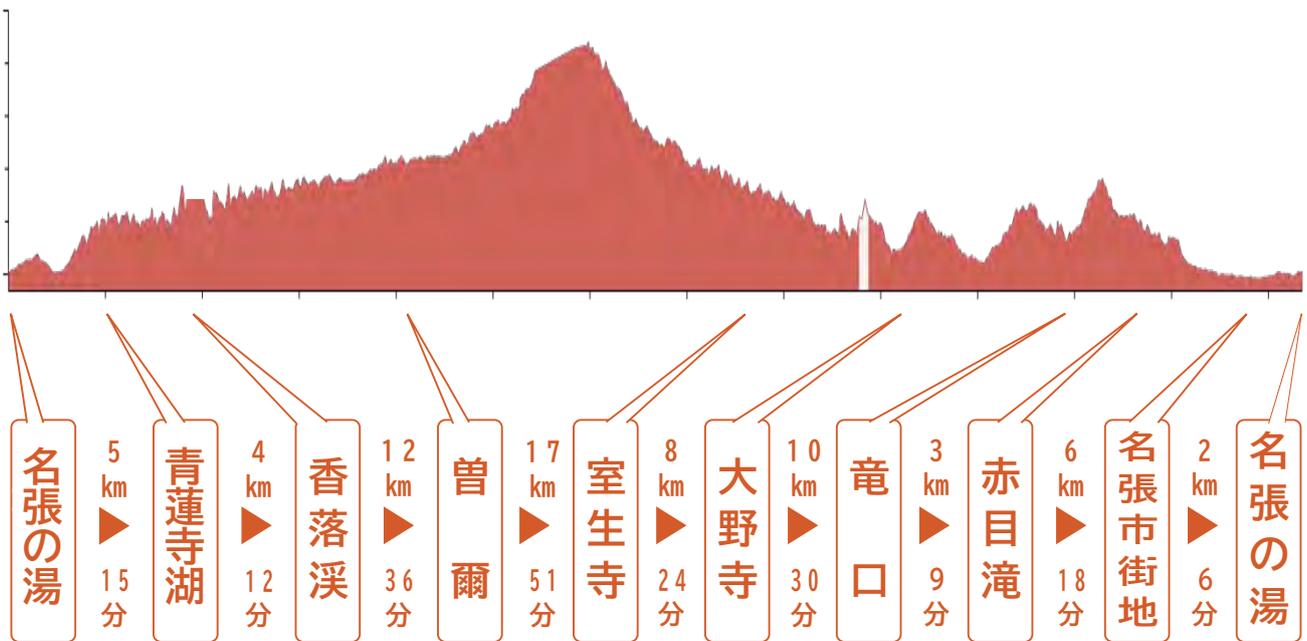




# 香落溪・室生寺・赤目四十八滝 紅葉ライド

約 1500 万年前の火山活動によって出来た山々が連なる室生赤目青山国定公園。この国定公園の見どころをギュッと凝縮した香落溪、室生寺、赤目四十八滝を巡るコースです。山や溪谷、そして湖と多様な景色を楽しめる贅沢なコースです。特に紅葉時期は、格別の美しさがあります。

## コース概略 (約 67km)



※時間は3分/km(平均時速20km)として表記しています。

休憩時間などは含みません。

## コース詳細 1 (名張の湯→青蓮寺湖)



坂を登り終わると、青蓮寺湖を横目に気持ちよく走っていきます。



しばらくすると見えてくる、赤い橋（弁天橋）を渡ります。



次に見えてくる青い橋は渡らずに直進します。



湖面に映る紅葉が美しいですね～。

### 1. 名張の湯 → 青蓮寺湖



スタートは癒しの里 名張の湯。ここを発着点にすることで、ライドの後は温泉に入って帰ることができます。



国道 165 号の信号を直進し、名張中央公園へ。つきあたりを右折。春は桜のトンネルが素晴らしい桜並木が続きます。



信号を直進、県道 81 号（名張曾爾線）を青蓮寺湖方面へ。補給食などは、坂を上る前のコンビニで調達を。



青蓮寺湖の堰堤まで、ウォームアップ分で坂を登ります。

## コース詳細 2-1 (香落溪→曾爾)



関西からも多くの方が訪れますが、「紅葉はここ(香落溪)がっちゃんきれいやわ」という声をよく聞きます。



休憩は途中の紅葉谷で。トイレと駐車場があります。夏は川遊びもできるスポットです。

## 2. 香落溪 → 曾爾



青蓮寺湖の上流にあるトンネルを抜けると、そこは香落溪。柱状節理の岩肌が約8 kmに渡って続きます。



車だと駐車できる個所は限られますが、自転車だとじっくりと紅葉を堪能できます。

## コース詳細 2-2 (香落溪→曾爾)



この蕎麦屋の名前は「黄色いのれん」。  
また機会があれば。



気軽に立ち寄れる場所として、空気入れの無料貸し出しなども行っている「新宅分店」



雄大な自然を感じる曾爾村。  
奥は鎧岳。見る角度によって山容が違いますね。



朝日を浴びる「夫婦岩」。この区間は、いつも夫婦円満を祈願しながら通過します。



「夫婦岩」を過ぎると三重県と奈良県の県境。曾爾村へ入っていきます。



高さ 200 mほどの垂直の岩壁が連なる「小太郎岩」を過ぎると、曾爾村の集落に入っていきます。



集落に入って右手に見えてくる大きな岩山は鎧岳（よろいだけ）です。

## コース詳細 2-3 (香落溪→曾爾)



室生方面へ進みます。



国道 369 号に出て、右へ進みます。



見てびっくり、食べてびっくりの「びっくりうどん」が食べられるお食事処「土井」。テレビなんかでもけっこう取り上げられています。店の前に謎のなにかがいて、びっくり。



「民宿 2.7」を過ぎると、すぐに右折。直進しても合流しますが、交通量が少なく、トンネルを避けた道を進みます。



右折してすぐの「民宿 豊栄」。ここはうどんも有名です。



曾爾村役場を通過



右手に見えてくるのは屏風岩。約 200 m の断崖で屏風を立てたような風貌です。

## コース詳細 2-4 (香落溪→曾爾)



しばらく進むと「伊勢本街道」の看板が。国道を右へそれると、「めだか街道」



2009年に放映されたNHK「鶴瓶の家族に乾杯！」をきっかけにめだかによる村おこしが始まったそうです。



春になれば、ここ一帯でメダカの販売もあるそうですが、なかなか自転車で持つて帰るのは難しそうですね。



直進すれば国道へ合流。右折します。



少し走れば左手にある休憩所でひと休み。自販機とトイレがあります。



道を走っていると曾爾村には公衆トイレがたくさんあることが分かります。トイレの管理はけっこう大変なのですが、おもてなしの心ですね。ただ、トイレの看板はちょっと変わってませんか？

## コース詳細 3-1 (曾爾→室生寺)



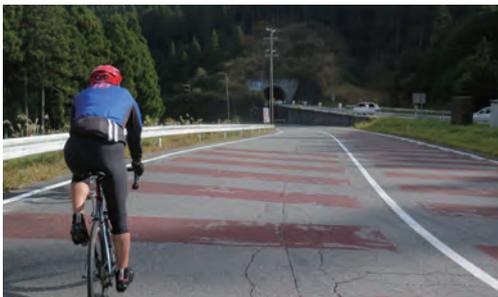
トンネルは2つあり合わせて4 kmほど続きます。しかも上り勾配・・・



前照灯と尾灯は必ず点灯させてください。徐々に疲れてきますが気を抜かず！



トンネルを抜けると室生寺方面へ右折



県道 28 号「吉野室生寺針線」へ。  
ここからは下りが続きます。



### 3. 曾爾 → 室生寺



この辺りから斜度が少し上がり、3 kmほど上りが続きます。



登りきると室生寺までの爽快な下りが待っていますので、頑張ろう！



坂が平坦に近くなるころ、右へ分岐する道があります。本来は右へ曲がり、もう少し上る予定なのですが・・・



通行止めとなっていたため、今回は国道を直進します（いずれも県道 28 号「吉野室生寺針線」に合流します）。

## コース詳細 3-2 (曾爾→室生寺)



ノスタルジックな集落を抜けていきます



川沿いに走っていると、龍穴神社が右手に見えてきます。自転車を溝にはめたらピッタリ



この辺りには龍神が住むといわれ、厳肅な雰囲気があります。



林道を下っていきますが、道幅が細いので注意



室生の里山を気持ちよく下っていきます。道幅も広がります。



しばらく走ると、右手に大きなイチヨウの木を発見



ええとこやなと思いつたらすぐに立ち寄れるのが自転車のいいところですね。

## コース詳細 3-3 (曾爾→室生寺)



雰囲気の良い広い座敷へ通していただきました。予約は不要です。



山菜定食とそうめん(温)を注文しました。



山菜定食は、蕨のわざび和え大和芋のとろろ、そうめん、かぼちゃの酢の物など山菜料理が並びます。



そうめんには柚子とうがらしを入れると、柚の香りにピリッとした辛さがやみつきに！



赤い橋を渡り、室生寺の門前町を少し走ります。



右手に室生寺の太鼓橋が見えたら…



道をはさんで向かいにあるのが旅館中村屋。本日の昼食場所です。サイクルラックが設置されています。



靴を脱いで座敷に上がります。

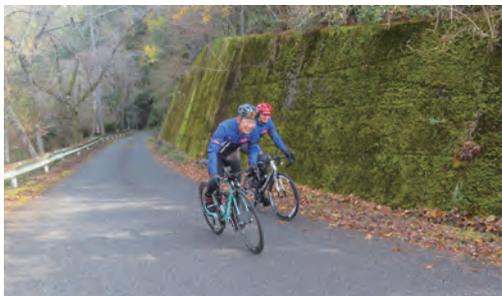
## コース詳細 4-1 (室生寺→大野寺)



室生川沿いの県道を下っていきます。



下りきる前に、室生ダム方面へ左折



左折すると急坂が…。食べた後の登りはしんどいですが、頑張ってます。



右手にダムの堰堤が見えてきます。

## 4. 室生寺 → 大野寺



食事の後は室生寺を散策。自転車は中村屋さんに了解をいただき、そのまま置いていかせていただきました。



室生寺に来たら必ず口にするのがよもぎ入りの回転焼き。甘くてもっちりみんなど好き。



近くの「室生よもぎ餅本舗 もりもと」には行列が…。柔らかくってよく伸びる人気のよもぎ餅が人気です。

## コース詳細 4-2 (室生寺→大野寺)



国道には出ずに大野寺方面へ右折（朱色の橋の下を潜り抜けていきます）



雰囲気の良い宇陀川沿いを進みます。



宇陀川の対岸に岩壁に刻まれた仏像「磨崖仏」が現れます。



しだれ桜で有名な大野寺を横目に近鉄 室生口大野駅方面へ進みます。



ダムの上の堤頂道路を渡ります。



堤頂道路を渡って小休止。  
眺めも良くて、トイレもあります。



この道を右折し、下っていきます



突き当りを左へ。室生寺から下ってきた  
県道に合流します。

## コース詳細 5-1 (大野寺→竜口・赤目滝)



15%の激坂を上ります。突き当りを右へ



県道（バイパス）の下をくぐって直進



三本松の旧街道を走り抜けていきます。



右手に見えて来るのは近鉄大阪線。この辺りは電車の撮影スポットにもなっているみたいです。

### 5. 大野寺 → 竜口・赤目滝



近鉄室生口大野駅へ向かう途中にあるこの交差点を右へ入っていきます。



細い道なので歩行者に注意してください。



トンネルをくぐります。対向車に注意！



ここは左へ進みます。

## コース詳細 5-2 (大野寺→竜口・赤目滝)



頑張って、食べた分はカロリーを消費しましょう！



三叉路に出てくるので、左へ



続く三叉路も左へ。この先を少し上れば、ようやく下りが待ち受けます。



下りきって、橋を渡らずに、左折します。



国道 165 号に出るので左折します。



1つ目の信号を右折。ただし、疲れの出てきた人は、国道を名張方面へ



赤い橋を渡ります。  
この先は、さらなる坂が待ち受けます。



いずれ道が広がり、同時に坂がきつくなっていきます。

## コース詳細 5-3 (大野寺→竜口・赤目滝)



しばらく坂が続きます。



懐かしい里山の雰囲気が残る竜口には、伊賀流忍者の祖 百地三太夫屋敷があります。



赤目滝へと続く峠道を上っていきます。



あまり知られていませんが、この辺りの紅葉も見事です。



突き当りを左折



交通量も少ない里山をゆったりと走ります。



この三叉路を右折します。



三叉路には、畳屋と「三重県竜口 赤目滝」との道標があります。「竜口」は奈良県側の「大和竜口」もあり、ややこしいですが、こちらは三重県側の「竜口」です。

## コース詳細 5-3 (大野寺→竜口・赤目滝)



赤目自然歴史博物館前にサイクルスタンドがあります。



赤目自然歴史博物館は無料で入館できます。カフェもあります。



博物館の向かいにあるのが、赤目名物「へこきまんじゅう」の「たまきや」さんです。



さつまいものスイーツは優しい甘さ！



三叉路を右へ



ここを上り切れば、上りは終わり！  
頑張りましょう！



下ると、赤目滝の入口です。この日は車が渋滞していました。突き当りを右へ



歩行者に気を付けて進んでください。しばらくすると赤目自然歴史博物館に到着します。

## コース詳細 6 (赤目滝→名張市街地)



新町橋を渡ってすぐの道を右折し、名張川沿いを進みます。



三叉路を右折。名張の市街地へ



造り酒屋や和菓子屋、武家屋敷など歴史あるまちなみを直進。突き当り（2つめの信号）を右折します。



線路をくぐって1つ目の信号を左折すれば、ゴールの「名張の湯」へ到着です。お疲れ様でした。

## 6. 赤目滝 → 名張市街地



滝川沿いの県道を爽快に下っていきます。



近鉄赤目口駅を通過し、線路をくぐります。



線路をくぐって、1つ目の信号を右折します。



宇陀川沿いを進み、国道165号の信号を直進